

「伊勢崎市人口ビジョン（素案）」に関するパブリックコメント手続の結果

意見の募集期間	令和6年10月10日 ～ 令和6年11月8日
意見の提出者数	1人
意見の件数	4件
意見の要旨の数	4件
担当部課	企画部企画調整課
電話	0270-27-2707（直通）
ファクス	0270-23-9800
電子メール	kikaku@city.isesaki.lg.jp

伊勢崎市人口ビジョン（素案）に関するパブリックコメント手続を令和6年10月10日から令和6年11月8日まで実施し、1名の方から4件のご意見・ご提案をいただきました。お寄せいただいたご意見等について、市の考え方を次のとおり公表します。

寄せられたご意見等の要旨とそれに対する市の考え方について次のとおり公表いたします。

1 第2章 人口現状分析

4 雇用・就労の状況（2）産業（大分類）別就業者数の推移（P19）についての意見

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1	産業（大分類）別の集計では、種類が少なく仕事を選べないという先入観を与える。細かい内訳を示したほうが良いのではないかな。	「第2章人口現状分析」は、本市の現状について概観を示すことを目的としており、職業の選択肢を示すことなどは目的としておりません。人口ビジョンにおける分析としては、産業（大分類）別の集計で十分であることから、原案のとおりとします。

2 第4章 人口の将来展望

1 市民意識（1）住みやすさと定住意向 ④伊勢崎市の住みにくい点（P31）についての意見

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
2	市内移動について、バスの運行本数や運行時間が、通勤や通学に利用できるようになっていないという点が不十分である。 市外への移動について、鉄道車両の老朽化によりサービスが低下しているため、自治体から鉄道会社へ改善するよう促してもらいたい。	コミュニティバスあおぞらにつきましては、高齢者等交通弱者に配慮した運行を維持しつつ、鉄道や学校等への結節性向上を図ってまいりましたが、令和4年度に実施したアンケート結果では、「移動したい時間にバスがない」、「目的地の近くまで行けない」、「家の近くにバス停がない」などの意見がありました。これらの意見を参考に、主に高齢者を対象としたタクシー活用事業を本年11月から実施し、今後は本事業

別記様式 4

		業実施に伴うコミュニティバスあおぞらの利用状況の変化を確認のうえ、より利便性の高いバス路線等を目指し、調査研究してまいります。 また、鉄道につきましては、近隣自治体と連携し、混雑時間帯の増便や特急誘致等の要望を鉄道会社に行ってまいりましたが、今後は、鉄道車両についても再確認してまいります。
--	--	---

3 第4章 人口の将来展望

1 市民意識 (3)理想の伊勢崎市 ①将来の理想の伊勢崎市 (P35) についての意見

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
3	障害者雇用について、就労移行支援や就労継続支援は拡充しているが、雇用に結びついていないように感じる。 教育環境について、伊勢崎市には四ツ葉学園があるが、他の中等教育学校や私立中学校と比較すると存在感が薄い。	本市の今後の施策検討の際に貴重な御意見として参考にいたします。

4 第4章 人口の将来展望

3 目指すべき将来の方向 (3)安定した雇用の場の創出・確保 (P39) についての意見

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
4	有効求人倍率が高いが選択肢が少なく、希望する職に就こうとすると都心部への転出を余儀なくされるように感じる。 自立可能な障害者雇用がまだまだ十分に進んでいないと感じる。	本市の今後の施策検討の際に貴重な御意見として参考にいたします。